

5月定例山行（一般公開ハイキング）

5月18日 大潰山

参加者 39名

（一般 22名、会員17名）

実行委員

清水、川村、小寺、
利田、（若木）

リーダー

島田、熊谷、上別祖、

宮城ス、滝、三重、白川、國本、入江、原田、成広、安永、坂井、

コースタイム

県庁北口 7:30⇒西風新都⇒筒賀インター8:30⇒大佐山スキー場 9:00→

10:30 大潰山山頂 12:30 →大佐山スキー場 14:00⇒どんぐり村⇒16:30 県庁北口



○

今回の公開バスハイクの特徴的なことをあげると、

1. 5月中旬の大潰山は、ミツバツツジの名所といわれるだけあって山頂の混雑が予想されたため、バスルートの予定を変更して行きは高速を使ったおかげで豚汁づくりの場所を確保することができた。

後から来た読売や中国トラベルの人たちは、藪の中に入って食事をとらなければならず、少々気の毒であった。人数確保の電話をしてわかったことだが、これまでやまぼうしのお客さんだった人たちが読売のツアーへ流れていた。それは弁当付き、風呂付きでなんと5800円という格安だったからである。このごろやまぼうしのバスハイ

クに人が集まらないわけがわかったような気がした。

2. 雨という長期予報がはずれて天気は上々であった。山頂付近の花は盛りを過ぎていたが、登山口や樹林帯のダイセンミツバツツジは見頃であった。
3. 今回は、当初の頃のようにバスハイクの目的の一つにリーダー養成を掲げ、はじめから個々にリーダーをお願いしたが、まぎわになって家庭の事情でキャンセルが多くでて困った。
4. 全体としては、思わぬハプニングや事故もなく、参加者の感想もおおむね好評であった。

（記 利田昭雄）